

中小企業景気動向調査

〔2012年7～9月期の景況/10～12月期の予想〕

【調査要項】

実施期間:2012年8月24日～9月7日

調査対象:県内の当金庫のお取引先 959社(下記参照)

調査方法:郵送および面談によるアンケート調査

分析方法:業況、売上、収益、資金繰り、人手などについて、「良い」(増加など)と答えた企業割合から「悪い」(減少など)と答えた企業割合を差し引いた値(DI:Diffusion Index)を中心に分析

	製造業	卸売業	小売業	飲食業	建設業	不動産業	運輸業	サービス業	合計
対象先数	422	126	75	29	146	41	34	86	959
回答数	384	112	63	28	136	36	28	79	866
回答率(%)	91.0	88.9	84.0	96.6	93.2	87.8	82.4	91.9	90.3



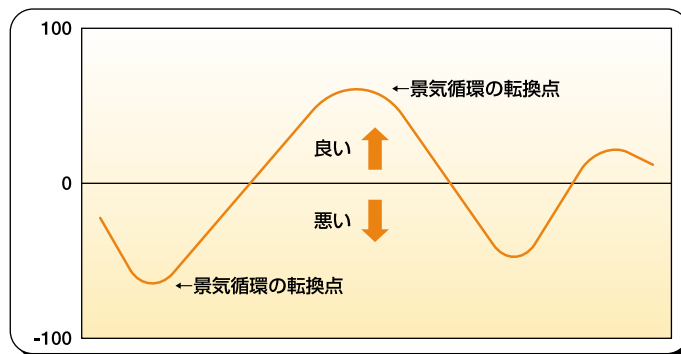
DIの算出方法

〔業況判断DIの場合〕

業況を「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いて求める。DIがプラスかマイナスで業況を判断するほか、前回調査(3か月前)からどのように変化したかも重要で、景気循環の転換点を捉える視点で用いるのが望ましい。



$$50\% - 35\% = 15 \text{ (\%ポイント)}$$



結果概要

7～9月期の景況

- ・製造業の景況感 2 四半期連続で悪化。エコカー補助金の息切れでマインド弱まる。
- ・非製造業は改善。建設業 5 四半期連続の改善。不動産業 底堅く推移。

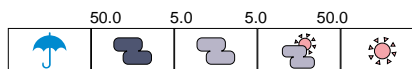
10～12月期の予想

- ・製造業・非製造業ともにマインド悪化の見通し。
- ・エコカー補助金の終了や海外経済の先行き不透明が要因。

業種別天気図（業況判断DIによる）

業種	前期 (4～6月期)	今期 (7～9月期)	予想 (10～12月期)	業種	前期 (4～6月期)	今期 (7～9月期)	予想 (10～12月期)
全産業	15.5	11.4	19.2	印刷	55.6	60.0	10.0
製造業	8.0	9.9	22.5	食料品	38.0	32.2	25.0
非製造業	21.3	12.4	16.6	卸売業	29.7	17.9	24.1
自動車部品	18.2	9.2	43.1	小売業	33.3	28.6	24.6
機械器具部	18.2	10.1	13.5	飲食業	53.9	35.7	53.6
金属製品	13.2	20.9	17.0	建設業	18.6	5.2	3.8
窯業・土石	15.0	25.0	21.0	不動産業	12.8	11.4	2.9
木材・木製品	27.3	9.1	0.0	運輸業	9.7	21.4	7.4
繊維製品	0.0	7.1	7.4	サービス業	13.9	18.9	20.3

数値は業況判断DI



業況判断

製造業・非製造業ともに、先行き悪化の見通し

〔全産業〕

- 7～9月期の企業の景況感を表す**業況判断DI**（業況を「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた値）はマイナス11.4となり、4～6月期（マイナス15.5）に比べ4.1ポイント改善した。

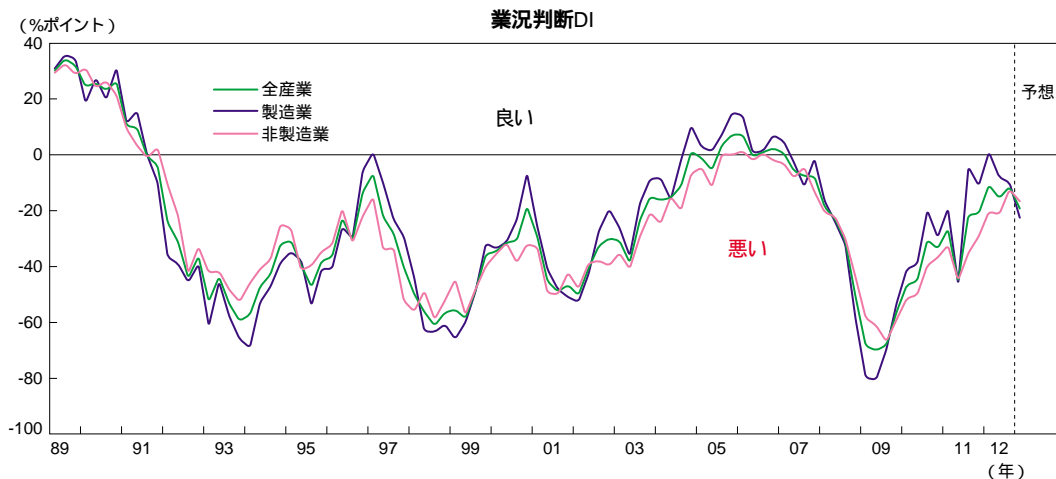
	前期	今期	予想	変化幅			
	〔4～6月期〕	〔7～9月期〕	〔10～12月期〕	前期	今期	今期	予想
全産業	15.5	11.4	19.2	4.1		-7.8	
製造業	8.0	9.9	22.5	-1.9		-12.6	
非製造業	21.3	12.4	16.6	8.9		-4.2	

（単位：%ポイント　　はマイナス）

- 10～12月期の**予想業況判断DI**はマイナス19.2と、7.8ポイントの悪化が見込まれている。

〔製造業〕

- 業況判断DI**はマイナス9.9。4～6月期（マイナス8.0）に比べ1.9ポイント悪化した。悪化は2四半期連続。
- DIが改善したのは、**機械器具部品、木材・木製品、食料品**。悪化したのは、**自動車部品、金属製品、窯業・土石、繊維製品、印刷**。
- エコカー補助金の政策効果の息切れでマインドがやや弱まった面がみられる。
- 予想業況判断DI**はマイナス22.5と、大幅な悪化が見込まれている。
- 自動車部品は52.3ポイントの悪化を予想。エコカー補助金の終了や海外経済の先行き不透明なことなどが影響している。



〔非製造業〕

- ・ **業況判断DI**はマイナス12.4。4～6月期（マイナス21.3）に比べ8.9ポイント改善した。
- ・ DIが改善したのは、**卸売業、小売業、飲食業、建設業、運輸業**。悪化したのは、**不動産業、サービス業**。
- ・ 建設業は5四半期連続の改善。
- ・ 不動産業は悪化したものの、2四半期連続でプラスを維持。
- ・ 運輸業は2四半期ぶりにプラスに。政策効果で自動車関連の輸送が比較的堅調だった模様。
- ・ **予想業況判断DI**はマイナス16.6。悪化の見通し。

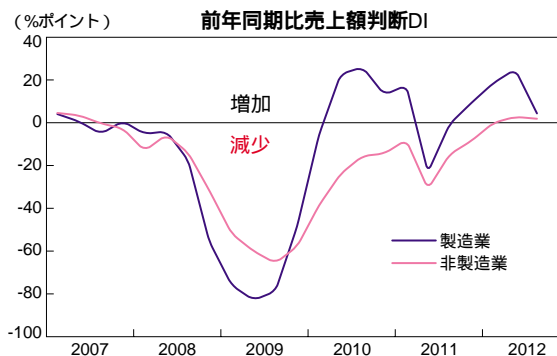
		7～9月期の業況		10～12月期の予想	
		改善した業種	悪化した業種	改善予想の業種	悪化予想の業種
製造業	製造業	機械器具部品 木材・木製品 食料品	自動車部品 金属製品 窯業・土石 繊維製品 印刷	金属製品 窯業・土石 木材・木製品 印刷 食料品	自動車部品 機械器具部品 繊維製品
	非製造業	卸売業 小売業 飲食業 建設業 運輸業	不動産業 サービス業	小売業 建設業	卸売業 飲食業 不動産業 運輸業 サービス業

売上額・収益

前年比増収減益に

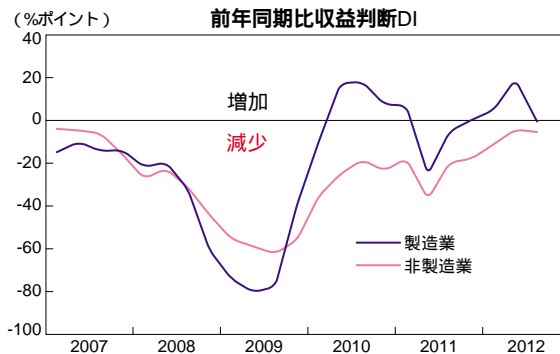
〔全産業〕

- ・ **前年同期比売上額判断DI**（売上額が前年同期と比べ「増加」したと答えた企業の割合から「減少」したと答えた企業の割合を差し引いた値）は3.0〔増加〕。プラスは3四半期連続。
- ・ **前年同期比収益判断DI**（収益が前年同期と比べ「増加」したと答えた企業の割合から「減少」したと答えた企業の割合を差し引いた値）はマイナス3.2〔減少〕となった。



〔製造業〕

- ・ 前年同期比売上額判断DIは4.4〔増加〕。前年同期比収益判断DIはマイナス0.5〔減少〕。
- ・ 売上額DIは4四半期連続のプラス。収益DIは4四半期ぶりのマイナス。
- ・ 増収増益となったのは、自動車部品と金属製品。



〔非製造業〕

- ・ 前年同期比売上額判断DIは1.9〔増加〕。前年同期比収益判断DIはマイナス5.4〔減少〕。
- ・ 増収増益となったのは、建設業と運輸業。
- ・ 小売業や飲食業では、夏の猛暑で来店客数が減り、売上額に影響したところもあった。

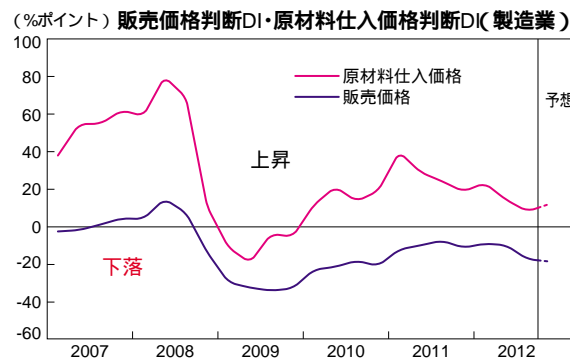
		前年同期に比した売上額	
		増加した業種	減少した業種
製造業		自動車部品 金属製品	機械器具部品 窯業・土石 木材・木製品 繊維製品 印刷 食料品
非製造業		建設業 不動産業 運輸業 サービス業	卸売業 小売業 飲食業

		前年同期に比した収益	
		増加した業種	減少した業種
製造業		自動車部品 金属製品	機械器具部品 窯業・土石 木材・木製品 繊維製品 印刷 食料品
非製造業		建設業 運輸業	卸売業 小売業 飲食業 サービス業
不動産業は変わらず			

販売価格・仕入価格

〔全産業〕

- ・ 販売価格判断DI（販売価格が3ヵ月前と比べ「上昇」と答えた企業の割合から「下落」と答えた企業の割合を差し引いた値）がマイナス13.5〔下落〕となる一方、仕入価格判断DI（仕入価格が3ヵ月前と比べ「上昇」と答えた企業の割合から「下落」と答えた企業の割合を差し引いた値）は8.8〔上昇〕となった。

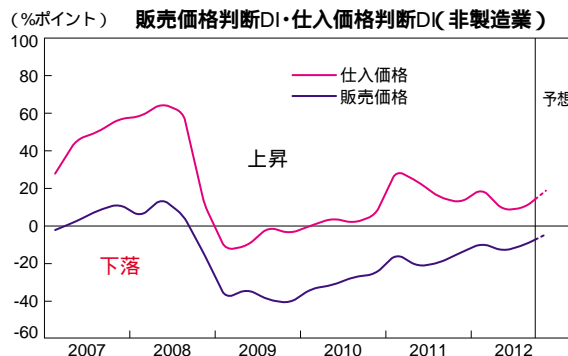


〔製造業〕

- ・ **販売価格判断DI**はマイナス17.5〔下落〕。
原材料仕入価格判断DIは8.0〔上昇〕となった。

〔非製造業〕

- ・ **販売価格判断DI**はマイナス10.3〔下落〕。
仕入価格判断DIは9.5〔上昇〕となった。



資金繰り

苦しい資金繰り続く

〔全産業〕

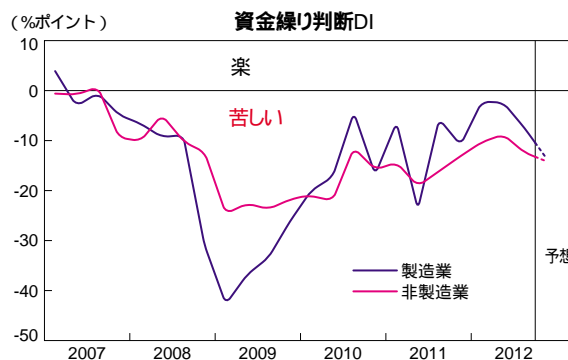
- ・ **資金繰り判断DI** (資金繰りが3か月前と比べ「楽」と答えた企業の割合から「苦しい」と答えた企業の割合を差し引いた値)はマイナス10.3〔苦しい〕となった。
- ・ **予想資金繰り判断DI**はマイナス13.9〔苦しい〕。

〔製造業〕

- ・ **資金繰り判断DI**はマイナス7.5〔苦しい〕。
- ・ 4~6月期(マイナス24)に比べ、やや悪化している。
- ・ **予想資金繰り判断DI**はマイナス13.4〔苦しい〕。

〔非製造業〕

- ・ **資金繰り判断DI**はマイナス12.4〔苦しい〕。
- ・ 4~6月期(マイナス8.8)に比べ、やや悪化している。
- ・ **予想資金繰り判断DI**はマイナス14.1〔苦しい〕。



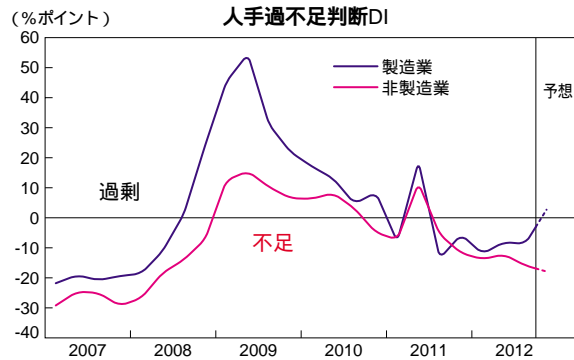
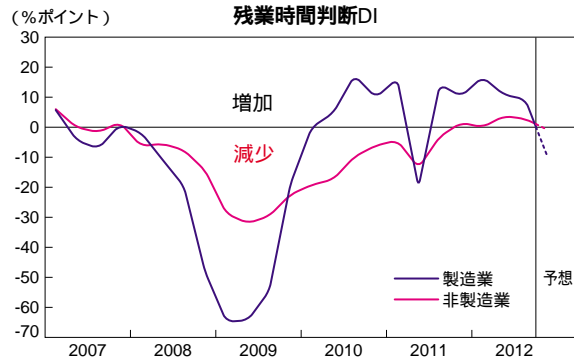
雇用

〔全産業〕

- ・ **残業時間判断DI**（残業時間が3ヵ月前と比べ「増加」と答えた企業の割合から「減少」と答えた企業の割合を差し引いた値）は5.7〔増加〕となった。
- ・ **予想残業時間判断DI**はマイナス4.4〔減少〕。
- ・ **人手過不足判断DI**（人手が「過剰」と答えた企業の割合から「不足」と答えた企業の割合を差し引いた値）はマイナス12.8となり、人手不足感が出ている。
- ・ **予想人手過不足判断DI**はマイナス8.7〔不足〕となっている。

〔製造業〕

- ・ **残業時間判断DI**は9.3〔増加〕。
- ・ **予想残業時間判断DI**はマイナス9.0〔減少〕。
- ・ **人手過不足判断DI**はマイナス8.7〔不足〕。
- ・ **予想人手過不足判断DI**は2.7〔過剰〕。



4～6月期に比べた残業時間	
増加した業種	
減少した業種	
製造業	自動車部品 機械器具部品 金属製品 食料品
	窯業・土石 繊維製品 印刷
木材・木製品は変わらず	
非製造業	卸売業 建設業 運輸業 サービス業
	小売業
飲食業・不動産は変わらず	

人手過不足感	
人手過剰の業種	
人手不足の業種	
製造業	食料品
	自動車部品 機械器具部品 金属製品 窯業・土石 木材・木製品 繊維製品
印刷は過不足なし	
非製造業	卸売業 小売業 飲食業 建設業 不動産業 運輸業 サービス業

〔非製造業〕

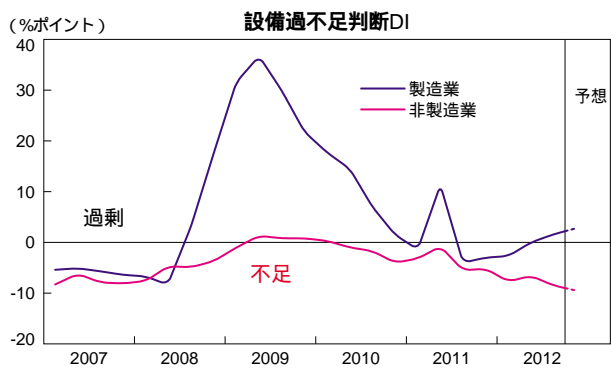
- ・ **残業時間判断DI**は2.8〔増加〕。
- ・ **予想残業時間判断DI**はマイナス0.7〔減少〕。
- ・ **人手過不足判断DI**はマイナス15.9〔不足〕。
- ・ **予想人手過不足判断DI**はマイナス17.9〔不足〕。

設備

設備投資実施 製造業28.0% 非製造業27.8%
 設備投資計画 製造業25.9% 非製造業20.7%

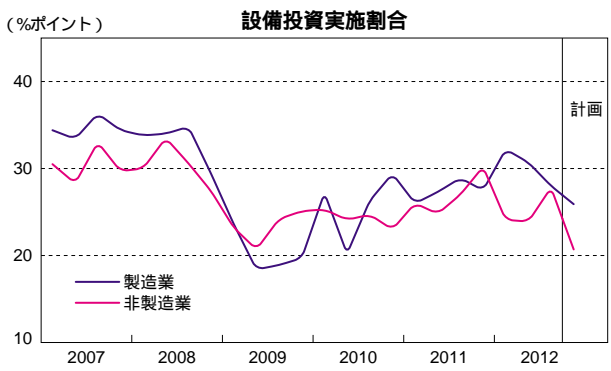
〔全産業〕

- ・ **設備過不足判断DI**（設備が「过剩」と答えた企業の割合から「不足」と答えた企業の割合を差し引いた値）はマイナス3.8〔不足〕となった。
- ・ **予想設備過不足判断DI**はマイナス3.8〔不足〕。
- ・ 7～9月期に**設備投資（リース・レンタルを含む）**を実施した企業は27.9%。
- ・ 10～12月期に**設備投資を計画**している企業は23.2%となった。



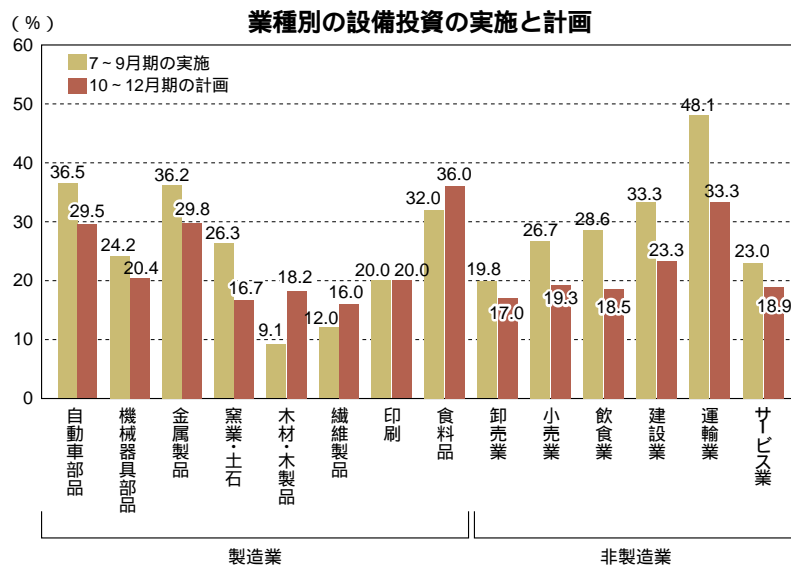
〔製造業〕

- ・ **設備過不足判断DI**は1.6となった。
- ・ **予想設備過不足判断DI**は2.8となった。
- ・ 7～9月期に**設備投資（リース・レンタルを含む）**を実施した企業は28.0%。
- ・ 内訳としては、**機械・設備の新增設**が53.4%、**機械・設備の更改**が31.1%、**車両**22.3%などとなっている。
- ・ 設備投資の目的としては、**老朽化に伴う更新**が52.4%、**能力増強**が28.2%、**合理化・省力化**が22.3%などとなった。
- ・ 10～12月期に**設備投資を計画**している企業は25.9%となっている。

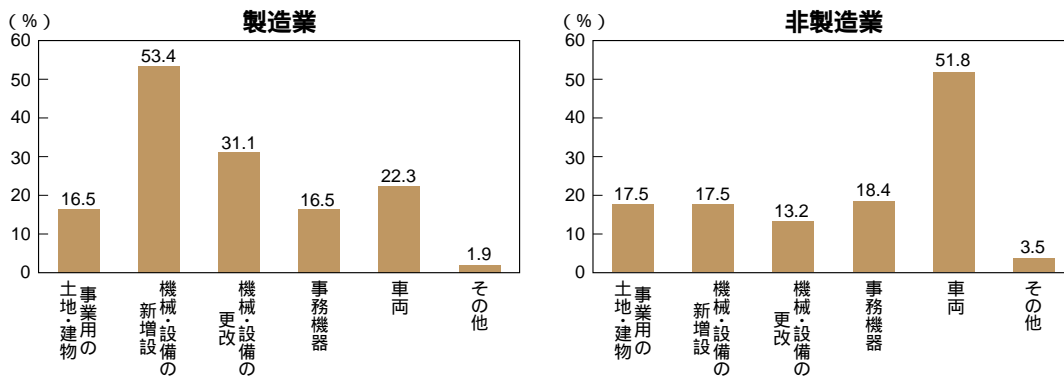


〔非製造業〕

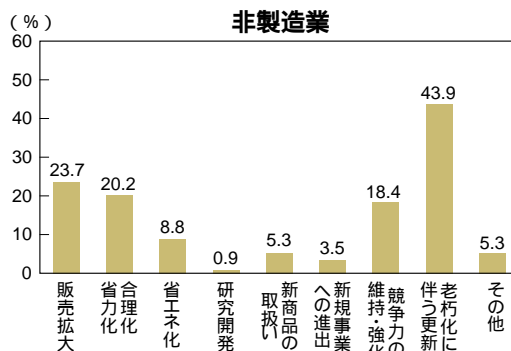
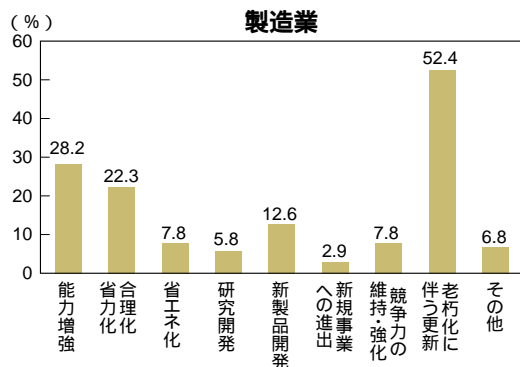
- ・ **設備過不足判断DI**はマイナス8.5〔不足〕となった。
- ・ **予想設備過不足判断DI**はマイナス9.5〔不足〕となっている。
- ・ 7～9月期に**設備投資（リース・レンタルを含む）を実施**した企業は27.8%。
- ・ 内訳としては、**車両**が51.8%、**事務機器**が18.4%、**事業用の土地建物**が17.5%、**機械・設備の新増設**が17.5%などとなっている。
- ・ 設備投資の目的としては、**老朽化に伴う更新**が43.9%、**販売拡大**が23.7%、**合理化・省力化**が20.2%、**競争力の維持・強化**が18.4%などとなった。
- ・ 10～12月期に**設備投資を計画**している企業は20.7%となっている。



7～9月期の設備投資の内訳

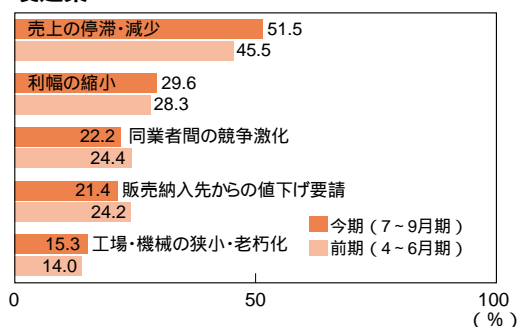


7～9月期の設備投資の主な目的

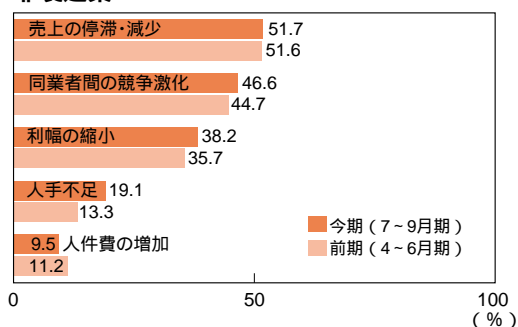


経営上の問題点

製造業

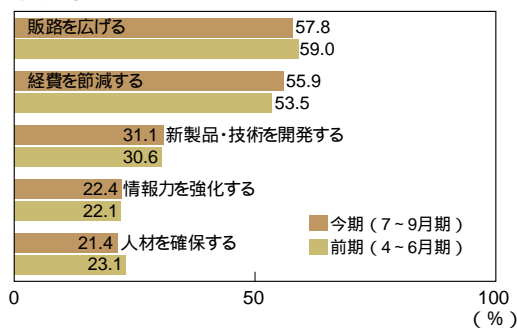


非製造業



当面の重点経営施策

製造業



非製造業

